

## 「北仲 BRICK&WHITE」に 文化芸術創造発信拠点「BankART KAIKO」がオープン！

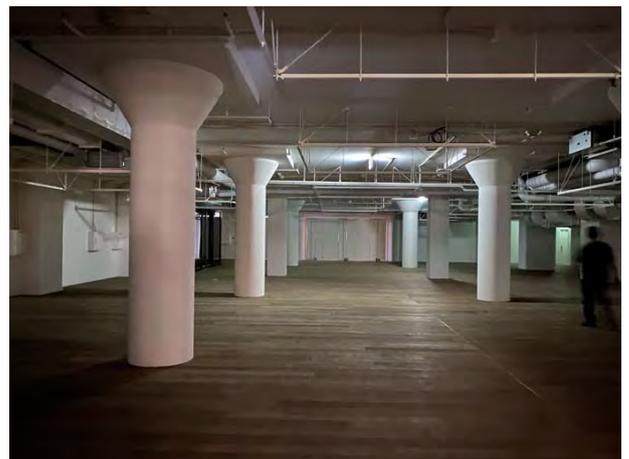
横浜市では、文化や芸術のもつ「創造性」を生かし、都市の新しい魅力や価値を生み出す取組として、都心臨海部の歴史的建造物や公共空間等を活用した創造界隈の形成を進めています。このたび、市との協定に基づき、創造的な活動を発信する分散型の創造界隈拠点「文化芸術創造発信拠点」を運営するNPO法人BankART1929が、新たに北仲 BRICK&WHITE（ブリック&ホワイト）内に「BankART KAIKO」（バンカート カイコ）をオープンし、10月30日（金）から村野藤吾展を開催します。

### 1 施設概要

- ・ 名称：BankART KAIKO
- ・ 所在地：横浜市中区北仲通5丁目57番地2  
北仲 BRICK&WHITE 1階
- ・ 面積：約620㎡
- ・ 用途：展覧会、イベント、ショップなど



北仲 BRICK&WHITE



BankART KAIKO 内観

※北仲 BRICK&WHITE は、横浜開港の記憶を残す、横浜市認定歴史的建造物である「旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫」の貴重な建物を復元して活用し、地域の歴史を継承した商業・文化施設です。

## 2 「村野藤吾展」概要

日本近代の建築家を代表する存在であり、旧横浜市庁舎（1959年竣工）の設計者でもある村野藤吾氏の模型、原図等の展示を行います。

なお、この展覧会は、現横浜市庁舎を設計した槇文彦氏の展覧会と連動して実施し、横浜市庁舎新旧の設計者のバトンをつなぎます。

- ・展覧会名：MmeetsM 村野 藤吾 展 & 槇 文彦 展
- ・開催場所：村野藤吾 展 BankART KAIKO  
槇 文彦 展 BankART Temporary（中区本町6-50-1）
- ・会 期：令和2年10月30日（金）～12月27日（日）
- ・時 間：11時00分～19時00分（最終日は17時まで）月曜休館（11月8日は休館）
- ・観覧料：1,600円（一般）、1,000円（大学生、専門学校生、横浜市民/在住）  
600円（高校生、65歳以上）、無料（障害者手帳お持ちの方/付添1名、中学生以下）
- ・主 催：村野藤吾建築展実行委員会、槇文彦建築展実行委員会

なお、NPO法人BankART1929による「BankART SILK」（中区山下町1 シルクセンター内1F）の運営は終了しました。

お問合せ先		
文化観光局創造都市推進課担当課長	藤塚 万里子	Tel 045-671-2277

# MURANO Togo MAKI Fumihiko

## 村野藤吾展

2020.10.30<sup>THU</sup> - 12.27<sup>SUN</sup>

11:00~19:00 (12/27は17:00まで) / 月曜休館 (11/8[日]は設備点検のため休館)

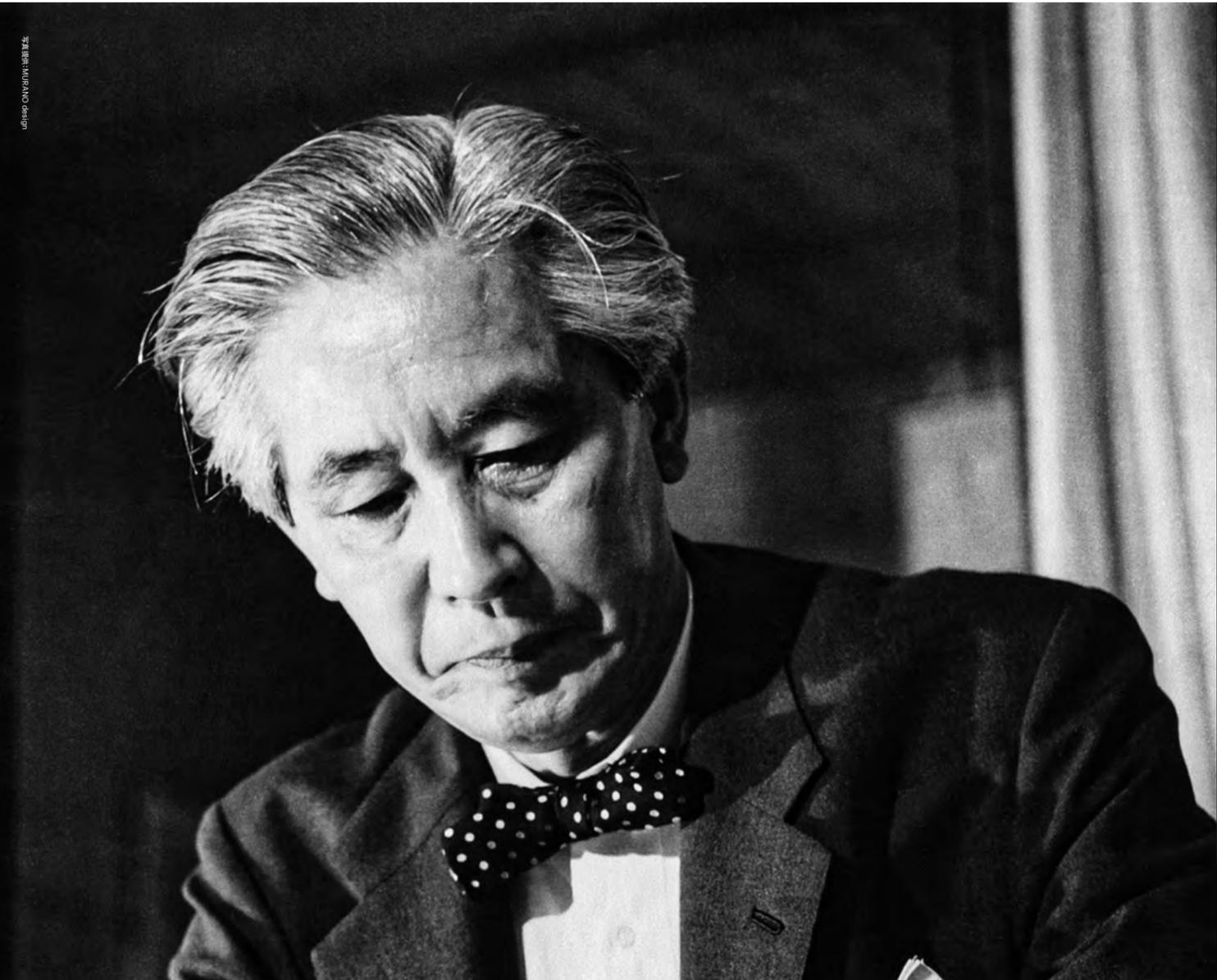
BankART **KAIKO** (横浜市中区北仲通 5-57-2-1F)

## 榎文彦展

2020.10.30<sup>THU</sup> - 12.27<sup>SUN</sup>

11:00~19:00 (12/27は17:00まで) / 月曜休館 (11/8[日]は設備点検のため休館)

BankART **Temporary** (横浜市中区本町 6-50-1 横浜創造都市センター)



# M meets M

© BankART 2020



榎文彦 + 榎総合計画事務所～人・建築・都市

# 榎文彦展

会場 | BankART Temporary (旧第一銀行)



横浜市庁舎



金沢シーサイドタウン 撮影:榎総合計画事務所



スパイラル 撮影:北嶋俊治



ヒルサイドテラス 撮影:榎総合計画事務所

Mmeets M。ちょうどひと世代の差がある二人の建築家が、ここ横浜の街で出会います。大規模再開発が決まり、一部は保存されますが、惜しまれながら姿が消えていく村野の旧庁舎。一方、6,500人の職員を包括し、横浜の新しい発信基地としてスタートした榎の新市庁舎。2020年、この新旧のリレーが展開されています。この機を捉えて、二人の日本を代表する建築家の展覧会を開催したいと思います。場所は、道路を挟む「旧帝蚕倉庫」と「旧第一銀行」をリノベーションしたアートスペース。二人の偉大な建築家と二棟の歴史的建造物のコラボレーションに是非ご期待ください。

榎文彦(1928～)は、ヒルサイドテラス、スパイラル、幕張メッセやニューヨークの4WTCなど、国内外で現代建築を牽引する影響力のある建築の設計で知られています。ここ横浜でも六大事業の都心部強化事業(みなとみらい地区など)、金沢地先埋立事業(シーサイドタウンなど)に深い関わりがあります。この時期の榎は、田村明ひきいる横浜の街づくりの、「アーバンデザイナー」としての役割を担っていました。北沢猛が2002年に創造都市構想を提案するにあたり、歴史的建造物を残し、そこにクリエイティビティを挿入しながら、街を再生していくことを推進しはじめた時にも、二棟の歴史的建造物(旧第一銀行、旧富士銀行)の再生を担いました。それゆえ、今回の新市庁舎の設計は、横浜の街づくりに長年携わってきた、榎の提案が評価されて実現したものであり、横浜の中心として今後大きな役割を果たしていくことでしょう。

## MAKI Fumihiko

1928年東京都に生まれる。1952年に東京大学工学部建築学科を卒業し、アメリカのクランブルック美術学院及びハーバード大学大学院の修士課程を修了。その後は、スキッドモア・オーウィングズ・アンド・メリル、セルト・ジャクソン建築設計事務所、ワシントン大学のキャンパス・プランニング・オフィスに勤務する。ワシントン大学とハーバード大学で都市デザインの準教授も務める。1965年に帰国、株式会社榎総合計画事務所を設立。40人の所員と共にオフィスを構えながら、東京大学教授を務め、1989年まで教壇に立つ。現在に至るまで日本を含め、国内外で設計活動を続けている。

主催: 村野藤吾建築展実行委員会、榎文彦建築展実行委員会 共催: 横浜市文化観光局 後援: 横浜市都市整備局、横浜市建築局  
特別協賛: 鹿島建設株式会社、京浜急行鉄道株式会社、株式会社竹中工務店、東急株式会社、三井不動産株式会社、朝倉不動産株式会社、戸田建設株式会社、川本工業株式会社、株式会社キクシマ、株式会社共栄社、株式会社松尾工務店、株式会社渡辺組、神奈川県建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、株式会社ディー・エヌ・エー \*掲載順は協賛金口数、組織名五十音順

協力: [村野藤吾展] 尼崎市教育委員会、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、MURANO design、村野藤吾の設計研究会、目黒区美術館、

東京都立大学小泉研究室 \*五十音順



# Mmeets M

村野藤吾(1891～1984)は日本近代の建築家を代表する存在であり、日比谷の日生劇場(1963)や箱根プリンスホテル(1978、現ザ・プリンス箱根芦ノ湖)の設計者としても知られています。また2005年には、広島の世界平和記念聖堂(1953)が戦後建築として初めて重要文化財に指定され、大きな話題を呼びました。旧横浜市庁舎(1959)は、その村野藤吾の数少ない庁舎建築作品のひとつであり、その代表的なものとして位置づけられます。また、旧庁舎は横浜開港100周年事業として起案されたものであり、近隣の歴史的建造物と調和する優れた景観を生み出すなど、横浜の中心市街地において、歴史的、景観的にも大きな役割を果たしてきました。本展では、旧庁舎の30点以上の設計原図、模型、写真を中心に、関東圏の作品や代表作の模型・写真を展示し、その功績を振り返ります。



日本生命日比谷ビル(1963) 外観 撮影:市川靖史



日本生命日比谷ビル(1963) 日生劇場内観 撮影:市川靖史



旧横浜市庁舎(1959) 市会棟側外観 撮影:市川靖史

## MURANO Togo

1891年佐賀県に生まれる。1918年に早稲田大学工学部(建築学科)卒業後、渡邊節建築事務所に入所。1929年大阪に村野建築事務所(後に村野・森建築事務所)を設立。1984年兵庫県で逝去(93歳)。古典様式からモダニズム、和風までさまざまな建築様式の手法を取り入れた独自の作風で、300を超える個性豊かな建築を設計した。また近代建造物として初めて国宝に指定された迎賓館(旧赤坂離宮)の改修も手がけた。

- ・村野藤吾展は、JIA 神奈川の建築フォーラムの一環として開催されます。
- ・村野藤吾展は、一般社団法人神奈川県安全協会の助成を受けて開催されます。



旧横浜市庁舎(1959) 行政棟側外観 撮影:市川靖史

共通チケット 1,600円(一般)、1,000円(大学生、専門学校生、横浜市民/在住) 600円(高校生、65才以上)、無料(障がい者手帖お持ちの方/付添1名・中学生以下)  
※ご本人に限り会期中何度でも入場可能です

アクセス BankART Temporary (横浜市中区本町6-50-1 / tel 045-663-2813) みなとみらい線「馬車道」駅1b出口直結徒歩1分  
BankART KAIKO (横浜市中区北仲通5-57-2-1F / tel 045-263-9590) みなとみらい線「馬車道」駅2a出口直結徒歩1分

お問合せ 展覧会開催連絡協議会 (BankART1929) info@bankart1929.com tel 045-663-2812

相互チケット割引 (チケット提示で入場料100円割引) 建築家 浦辺鎮太郎の仕事 横浜展「都市デザインへの挑戦」  
2020年11月14日[土]～12月13日[日] 会場|横浜赤レンガ倉庫1号館 2F スペース 開館時間|10:30～18:30 (入館は18時まで)

# 村野藤吾展

～旧横浜市庁舎の建築家～

会場 | BankART KAIKO (旧帝蚕倉庫)

